

認定心理士養成課程 履修要項

1. 認定心理士養成課程

認定心理士養成課程とは、心理学の専門家として仕事をするために必要な最小限の標準的基礎学力を養うための課程である。本学の国際学部を設置している課程であるが、他の学部の者も履修することができる。

認定心理士養成課程を修了するためには、各学部の卒業に必要な単位数とは別に「認定心理士養成課程科目」の所定の単位を修得しなければならない。

なお、本課程を修了した者には、本学が独自に発行する修了証書が授与されるが、これは、教育職員免許状のように法律に基づく免許・資格に相当するものではない。

なお、本課程を修了した者は、所定の審査に合格することにより、財団法人日本心理学会の認定を受けることができる。

2. 履修手続

認定心理士養成課程の履修希望者は、オリエンテーション期間中に実施される認定心理士養成課程説明会に出席し、所定の「認定心理士養成課程履修カード」に必要事項を記入の上、教務事務室教務課に提出すること。

履修手続完了者は当該学期以後、履修登録時に通常の授業科目と同様に「認定心理士養成課程科目」を履修登録すること。

なお、所属する学部の卒業に必要な科目と時間割が重複する可能性もあるため、早い段階から計画的に履修することが必要である。

3. 履修方法

認定心理士養成課程科目は、「基礎科目」「選択科目」「その他の科目」の3分野で構成されており、各分野から必要単位数を修得すること。

(1) 「基礎科目」(領域 a～c) に設置されている 6 科目は必修科目である。

(2) 「選択科目」(領域 d～h) の 5 領域の中から 16 単位以上を修得する。

但し、5 領域中 3 領域以上で各領域 4 単位以上を含むこと。

(3) 「基礎科目」「選択科目」「その他の科目」の合計 36 単位以上

(4) 情報学部開講科目を履修希望の場合は、必ず授業開始前のオリエンテーション期間中に教務課に申し出ること。ただし、申請後の変更は一切認められない。専門性が高い科目であることから安易に履修申請をせずに、シラバス等で授業内容を十分に理解してから申請すること。

4. 修了要件

認定心理士養成課程を修了するためには、次の要件を満たさなければならない。

(1) 本学の卒業に必要な単位数を修得すること。

(2) 認定心理士養成課程科目の所定の単位を修得すること。

5. 修了証書

本課程を修了した者には、卒業時に本学が独自に発行する「認定心理士養成課程修了証書」を授与する。

6. 資格取得方法

認定心理士の資格を取得するには、以下の**資格認定要件**を満たしていなければならない。認定の可否は日本心理学会認定心理士資格認定委員会の審査によって決定される。同委員会の配付する「認定心理士申請書類」に必要事項を記入し、審査料とともに送付すると審査が実施され、認定の可否が通知される。そして、認定の通知のあった者が認定料を納めると学会の名簿に氏名が登録され、認定証と ID カードが届けられる。

7. 資格認定要件

次の条件を卒業見込みの学年度において満たしている者は、申請することができる。

- (1) 16 歳以降通算 2 年以上日本国に滞在した経験を有する者。
- (2) 学校教育法により定められた大学、または大学院における心理学専攻、教育心理学専攻、または心理学関連専攻の学科において、次ページ以降の別表に掲げる「認定心理士養成課程に関する科目一覧」で必要単位を修得し、卒業または修了した者、および、それと同等以上の学力を有すると認められた者。

以 上

(別表【国際学部生】)

認定心理士養成課程に関する科目一覧

日本心理学会で定めた認定資格		開講科目				
区分	領域	授業科目	単位	配当年次	必要単位数	開講学部等
基礎科目	a. 心理学概論	行動科学概論 A	2	1	12 単位以上 a. c. 領域 4 単位以上 b. c. の合計 8 単位以上	共通
		行動科学概論 B	2	1		共通
	b. 心理学研究法	統計の理論と応用 (※心理統計学 A)	2	2		情報
		社会情報調査法 (※心理統計学 B)	2	2		情報
	c. 心理学実験/ 実習	人間情報処理演習Ⅰ (※心理学基礎実験 A)	2	2		情報
		人間情報処理演習Ⅱ (※心理学基礎実験 B)	2	3		情報
選択科目	d. 知覚心理学/ 学習心理学	学習過程論	2	3	16 単位以上 d. ~h. の 5 領域中 3 領域以上で 各領域 4 単位以上を 含む	情報
		思考と意思決定	2	3		情報
		人間の情報処理Ⅰ	2	1		情報
		人間の情報処理Ⅱ	2	2		情報
		認知心理学 A	2	3		商
		認知心理学 B	2	3		商
	e. 生理心理学/ 比較心理学	※生理心理学	2	2		国際
		—				—
	f. 教育心理学/ 発達心理学	※教育心理学	2	2		教職
		心理学（発達心理学）	2	1		共通
	g. 臨床心理学/ 人格心理学	心理学（臨床心理学）	2	1		共通
		※人格心理学	2	2		国際
		※カウンセリング	2	3		国際
	h. 社会心理学/ 産業心理学	社会心理学 A	2	1		国際
		社会心理学 B	2	1		国際
		社会コミュニケーション概論	2	2		情報
その他の 科目	i. 心理学関連科目、 卒業論文/卒業研究	非言語コミュニケーション論	2	3	—	国際
		コミュニケーション心理学	2	1		商
		スポーツ心理学	2	1		経済
合 計					36 単位以上	

【注意事項】

1. 網掛けの科目は必修科目を示す。
2. ※印の科目は制限外登録とし、卒業必要単位数には充当されない。
3. 無印の科目は制限内登録とし、卒業必要単位数に充当される。

(裏面につづく)

4. 「心理学(共通科目)」については、クラスによって内容が異なるため(発達心理学と臨床心理学)、各自シラバス内容を確認し、自身が必要とするクラスを選択すること。
5. a. 「人間情報処理演習Ⅰ」は、「人間の情報処理Ⅰ」「人間の情報処理Ⅱ」を修得済みの学生を対象とする。
b. 「人間情報処理演習Ⅱ」は、「人間の情報処理Ⅰ」「人間情報処理演習Ⅰ」を修得済みの学生を対象とする。

(別表【国際学部生以外】)

認定心理士養成課程に関する科目一覧

日本心理学会で定めた認定資格		開講科目				
区分	領域	授業科目	単位	配当年次	必要単位数	開講学部等
基礎科目	a. 心理学概論	行動科学概論 A	2	1	12 単位以上 a. c. 領域 4 単位以上 b. c. の合計 8 単位以上	共通
		行動科学概論 B	2	1		共通
	b. 心理学研究法	統計の理論と応用 (※心理統計学 A)	2	2		情報
		社会情報調査法 (※心理統計学 B)	2	2		情報
	c. 心理学実験/ 実習	人間情報処理演習Ⅰ (※心理学基礎実験 A)	2	2		情報
		人間情報処理演習Ⅱ (※心理学基礎実験 B)	2	3		情報
選択科目	d. 知覚心理学/ 学習心理学	学習過程論	2	3	16 単位以上 d. ～h. の 5 領域中 3 領域以上で 各領域 4 単位以上を 含む	情報
		思考と意思決定	2	3		情報
		人間の情報処理Ⅰ	2	1		情報
		人間の情報処理Ⅱ	2	2		情報
		認知心理学 A	2	3		商
		認知心理学 B	2	3		商
	e. 生理心理学/ 比較心理学	※生理心理学	2	2		国際
		—				—
	f. 教育心理学/ 発達心理学	※教育心理学	2	2		教職
		心理学（発達心理学）	2	1		共通
	g. 臨床心理学/ 人格心理学	心理学（臨床心理学）	2	1		共通
		※人格心理学	2	2		国際
		※カウンセリング	2	3		国際
	h. 社会心理学/ 産業心理学	※社会心理学 A	2	1		国際
		※社会心理学 B	2	1		国際
		社会コミュニケーション概論	2	2		情報
その他の 科目	i. 心理学関連科目、 卒業論文/卒業研究	※非言語コミュニケーション論	2	3	—	国際
		コミュニケーション心理学	2	1		商
		スポーツ心理学	2	1		経済
合 計					36 単位以上	

【注意事項】

1. 網掛けの科目は必修科目を示す。
2. ※印の科目は制限外登録とし、卒業必要単位数には充当されない。
3. 無印の科目は制限内登録とし、卒業必要単位数に充当される。

(裏面につづく)

4. 「心理学(共通科目)」については、クラスによって内容が異なるため(発達心理学と臨床心理学)、各自シラバス内容を確認し、自身が必要とするクラスを選択すること。
5. a. 「人間情報処理演習Ⅰ」は、「人間の情報処理Ⅰ」「人間の情報処理Ⅱ」を修得済みの学生を対象とする。
b. 「人間情報処理演習Ⅱ」は、「人間の情報処理Ⅰ」「人間情報処理演習Ⅰ」を修得済みの学生を対象とする。